

お知らせ



- 通学用バッグは、ランドセルでなくてもかまいません。
- 「式服」は、白と黒である必要はありません。
- ※ くわしくは、後ほど学校ホームページの
「保護者の皆様へ」のページをご覧ください。

豊見城市立ゆたか小学校



令和7年度

学校経営説明会

令和7年6月17日（火）

豊見城市立ゆたか小学校

本日の内容



はじめに（教育基本法）

- 1 学校経営（グランドデザイン）について
- 2 学校経営（具体的な取り組み）について
- 3 子ども達のサポート体制
（「先生」以外に、小学校で勤務する方々）
- 4 お礼 と 協力依頼

はじめに（教育基本法）

学校教育

第六条 法律に定める**学校は、公の性質を有する**ものであって、国、地方公共団体及び法律に定める法人のみが、これを設置することができる。

2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、**学校生活を営む上で必要な規律を重んずる**とともに、**自ら進んで学習に取り組む意欲を高める**ことを重視して行われなければならない

はじめに（教育基本法）

家庭教育

第十条 父母その他の保護者は、子の教育について
第一義的責任を有するものであって、生活のために
必要な習慣を身に付けさせるとともに、**自立心**を育成し、
心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

2 国及び地方公共団体は・・・（略）

はじめに

家庭、学校、その他（地域等）で

協力・分担して、

児童の健全育成を図ることができればと考えています。

本日の内容



はじめに（教育基本法）

- 1 学校経営（グランドデザイン）について
- 2 学校経営（具体的な取り組み）について
- 3 子ども達のサポート体制
（「先生」以外に、小学校で勤務する方々）
- 4 お礼 と 協力依頼

I 学校経営（グランドデザイン）について



（上段）

（中段）

（下段）

学校経営（グランドデザイン）について（上段）

令和7年度ゆたか小学校グランドデザイン（全体構想図）

全教職員参画の学校経営

教育目標

ゆめに向かって たくましく かにく生きるゆたかっ子の育成



めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

～自他を尊重し 情報を収集、比較・整理し 最適解を見いだそうとする児童～

第1期

児童が主語の学校

第4期

学校経営（グランドデザイン）について（中段）

次へつながるR-PDCAサイクル

「ポジティブな行動支援」の考え方を活かした指導・支援

めざす子供の姿	自他を尊重	情報を収集、比較整理	最適解を見いだす
	○自分を肯定する。 ○自分の意見や考えを持つ ○他者を肯定し、意見や考えを尊重	○自他の意見や考え、周りの状況、様々な情報を材料に、根拠を持って	○自分なりの最適解を見いだし、 ○行動する
取組の重点	○共感的人間関係と支持的風土のある学級経営（QU、アセスの活用） ○わからないと言える、失敗しても再挑戦できる風土 ○子供が主体的に企画運営する特別活動（学校行事、委員会活動、学級活動等） ○互いのちがいを認め合う人権教育 ○どこでもだれでも一貫した特別支援教育 ○命を守る危機回避能力を養う安全教育 ○ICT機器の知識・技能の習得	○学習に向かう姿勢 ○自己肯定感を高める支援・指導 ○教科等横断的で魅力ある教育課程の工夫 ○わかる・できる・楽しいUDLの考え方を活かした授業 ○語彙指導（言の葉たいむ）の充実 ○主体的・対話的で深い学び（協働的な学びと個別最適な学び） ○学校や地域を大切に思い貢献する心を育てる学習活動の工夫 ○効果的にICT機器を活用した学び	○生徒指導の実践上の視点（4つ）を活かした授業づくり、教育活動 ・自己存在感の感受・共感的な人間関係の育成 ・自己決定の場の提供・安全・安心な風土の醸成 ○見通しをもって課題解決に向かう授業づくり ○振り返りから新たな問いが生まれ、次の学びへつながる授業づくり ○学びが将来に役立つことを実感する授業づくり（キャリア教育の視点、キャリアパス・ポート活用） ○自学自習力を育む授業と家庭学習の取り組み ○SDGsの視点を取り入れた授業づくり
地域家庭連携	○早寝・早起き・朝ごはん ○主体的な家庭学習の取り組み ○学校応援サポーターの推進（保護者の積極的参加） ○明るいあいさつ、てくてく登校 ○授業参観、学校公開、情報発信 ○地域教育資源の計画的・効果的な活用 ○PTAとの連携		

授業・体験活動・行事で育てる

学び・仲間・地域とつながる

単元・授業のマネジメント

第1期
出会い・希望
めあて・見通し

第4期
成長・感謝
振り返り

認め合う学級風土づくり

第2期
挑戦
自力解決

第3期
協働
対話

学校経営（グランドデザイン）について（中段）

自ら考え判断し行動する

第4期

1～3月

成長・感謝

- お世話になった人たちへありがとう！
- これまでの自分に起きた出来事にありがとう！
- ゆたかっ子よ、大志をいだけ！夢に向かって・・・

第3期

10～12月

協働

- 学び合い、教え合い、考え合う。人や社会とつながる喜び
- みんなの力で問題解決 みんなで協力しあって目標に向かう
- いろいろな個性とやさしさが集まってカラフルな世界

第2期

8～10月

挑戦

- 挑戦の数だけ可能性がある。目標において挑戦する
- 失敗は成功のチャンス！ころんだらすぐに立ち上がれ！（何度でもやり直すたくましさ）
- 一人一人の「個性」と「得意」と「好き」を伸ばす

第1期

4～7月

出合い・希望

- 自分のことは自分でできる（凡事徹底）
- 自分の目標をもち、計画を立てる
- 毎日が新しい出合い。笑顔であいさつ



竹は節のおかげで強い風にもたおされことなく空に向かってぐんぐん伸びていきます。節目を大切に一人一人の子どもに強い節をつくる学校教育をめざします。

学校経営（グランドデザイン）について（下段）

和顔愛語：支持的風土に満ちた居心地のよい学級づくり

率先垂範：教師は最大の「教育環境」

キーワードは **つながる**



学びがつながる
人とつながる
明日へつながる教育活動

いじめ解消率100%
をめざして！



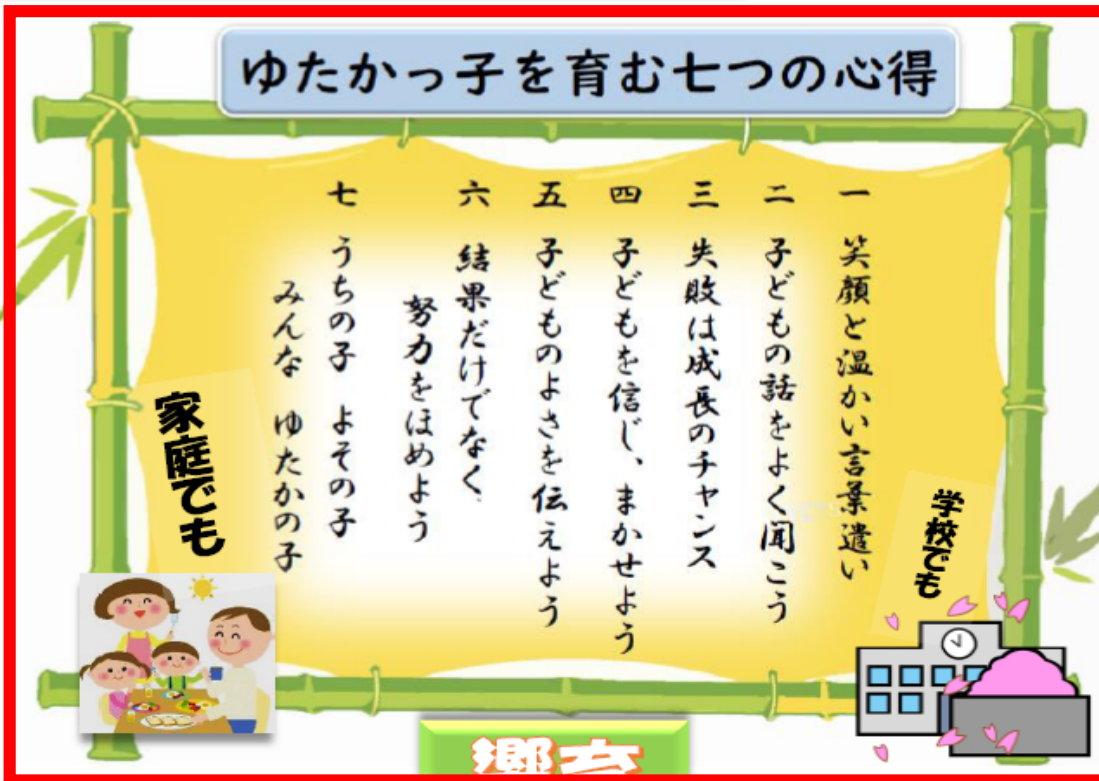
共にゆたかっ子の育ちを応援！

- 【凡事徹底】基本を身に付けよう
- 【切磋琢磨】共に成長しよう
- 【持続可能】新たな力を発揮しよう

協育

地域とともに
地域教育資源の効果的な活用
「ひと・もの・こと」
学校地域協働本部との連携

ゆたかっ子を育む七つの心得



**郷土
育**

保護者・児童・関係者による学校評価を生かした
学校教育

つながる学校

竹のようにすくすくと

知識は智慧に



想像は創造へ

- ・自分を大切に
- ・言葉を大切に

共育

保護者とともに
学校公開、教育活動報告
情報発信・連携・協力
学校応援サポーター
PTA 活動

本日の内容



はじめに（教育基本法）

- 1 学校経営（グランドデザイン）について
- 2 学校経営（具体的な取り組み）について
- 3 子ども達のサポート体制
（「先生」以外に、小学校で勤務する方々）
- 4 お礼 と 協力依頼

2 学校経営（具体的な取り組み）について

めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

- （1）児童一人ひとりの個性（特性）を踏まえた指導・支援
- （2）学年職員の連携
- （3）学び・授業について
- （4）失敗ができること（失敗を恐れず挑戦できる雰囲気）

2 学校経営（具体的な取り組み）について

めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

（1）児童一人ひとりの個性（特性）を踏まえた指導・支援

- ① 「みんなちがってみんないい」
- ② 「ポジティブな行動支援」の考え



児童の望ましい行動を育てる支援方法

望ましい行動を「賞賛や承認」で増やし、
結果的に望ましくない行動を減らそうとする。

2 学校経営（具体的な取り組み）について

めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

（2）学年職員の連携

職員 児童

職員 児童

- ① 1人で30人を見守る→4人で120人を見守る
（良さや課題に気づき、多様な働きかけ）
一部教科担任制（1～5年生）
学年担任制（6年生）
- ② 児童どうしの交流（特別支援学級等）

2 学校経営（具体的な取り組み）について

めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

（3）学び・授業について

- ① 児童が**主体的**に取り組む学び
- ② **個別最適**な学びと**協働的**な学び
- ③ **自己調整学習**
- ④ 家庭学習
宿題と**自主学習**

はじめに（教育基本法）

学校教育

第六条 法律に定める学校は、公の性質を有するものであって、国、地方公共団体及び法律に定める法人のみが、これを設置することができる。

2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、

自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない

「自立した学習者」育成 プロジェクト

令和7年度版

自立した学習者

目的や状況に応じて、自分に合った学び方を工夫したり、学習意欲を自ら引き出したりして学習できるような児童生徒



沖縄県教育庁義務教育課

2 学校経営（具体的な取り組み）について

めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

（3）学び・授業について

- ① 児童が**主体的**に取り組む学び
- ② **個別最適**な学びと**協働的**な学び
- ③ **自己調整学習**
- ④ 家庭学習
宿題と**自主学習**

そのために・・・

大人が**発想の転換**を！

2 学校経営（具体的な取り組み）について

めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

（4）失敗ができること（失敗を恐れず挑戦できる雰囲気）

① 自ら 考え 判断し 行動する



失敗するときもある



失敗から学び、成長する

2 学校経営（具体的な取り組み）について

めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

（4）失敗ができること（失敗を恐れず挑戦できる雰囲気）

〔 本田圭祐氏と松岡修造氏の対談 〕

本田氏：「負けた人や失敗した人に、日本はマイナスなレッテルを貼る。」

「失敗は、必然で必要なこと。」

松岡氏：「僕は、ジュニアの子がミスしたら、ガッツポーズしてもらっている。」

2 学校経営（基本的な考え方）について

めざす子供の姿

自ら 考え 判断し 行動する（主体的な児童）

（4）失敗ができること（失敗を恐れず挑戦できる雰囲気）

① 自ら 考え 判断し 行動する



失敗するときもある



失敗から学び、成長する

失敗は、
○チャレンジした証
○学びを得るチャンス

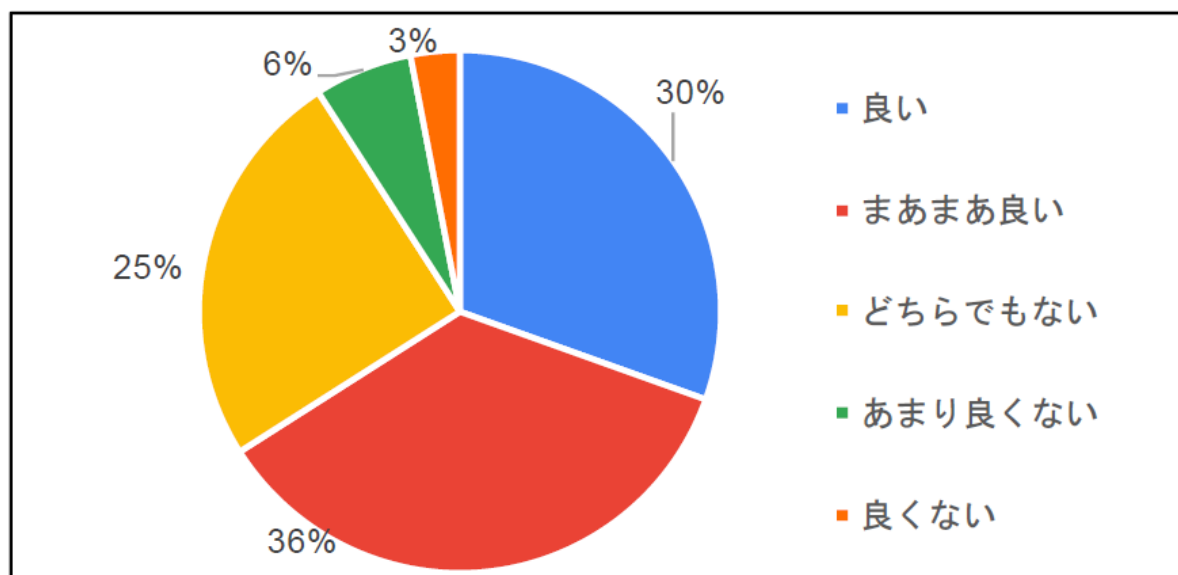
（ 本田圭祐氏と松岡修造氏の対談 ）

6年生での学年担任制について（昨年度12月のアンケート結果）

学校HP
に掲載中

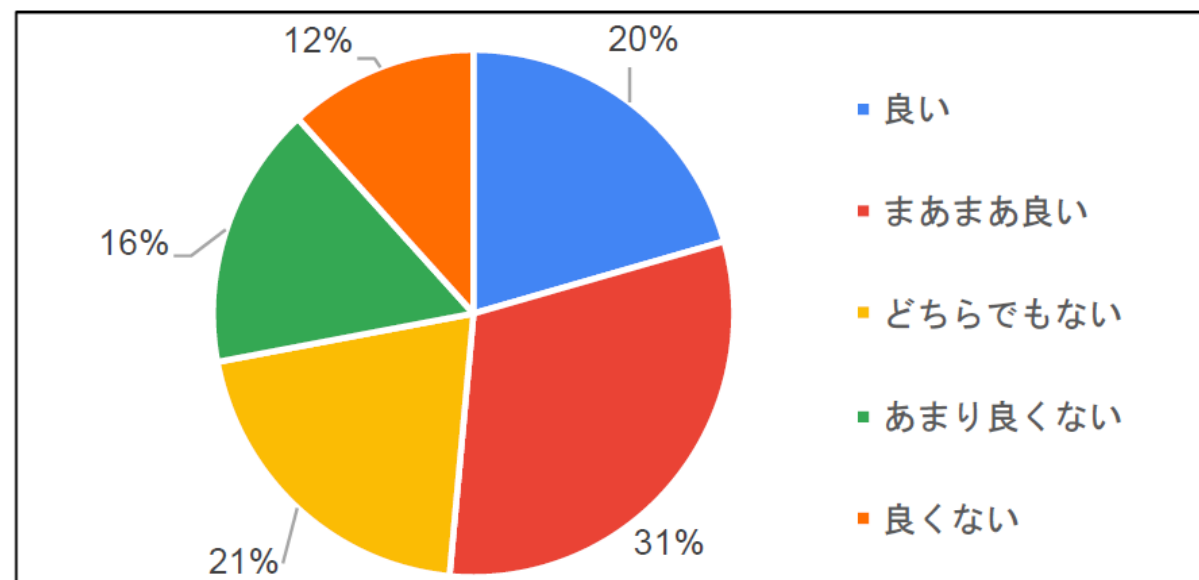
（１）児童アンケート

	人数	割合
良い	60人	30.5%
まあまあ良い	70人	35.5%
どちらでもない	49人	24.9%
あまり良くない	12人	6.1%
良くない	6人	3.0%
合計	197人	



（２）保護者アンケート

	人数	割合
良い	14	20.6%
まあまあ良い	21	30.9%
どちらでもない	14	20.6%
あまり良くない	11	16.2%
良くない	8	11.8%
合計	68	



（１）児童アンケート

良さ

- ・相談しやすい先生に相談することができる。
- ・いろいろな先生と話す（関わる）ことができる。

課題

- ・誰に相談したら良いかわからない。
- ・相談したい先生が別のところにいるときがある。
- ・担任が替わるのに慣れない。

（２）保護者アンケート

良さ

- ・話せる先生ができ、登校しづりがなくなった。
- ・複数の先生の視点で、児童を捉えることができる。

課題

- ・誰に相談したら良いか迷った。
- ・慣れるのに時間がかかる児童の場合難しそう

昨年度の良さを活かしつつ、課題への対応等、改善しながら、本年度は6年生に於いて学年担任制を実施

課題への対応例

- ・ 誰に相談したら良いかわからない
コミュニケーションが苦手な児童等
→ 誰でもOKだが、基本的に対応する先生を1人決める
(保護者へは、学年だより等で周知)
- ・ 新しい先生に慣れるのに時間がかかる
→ 担任が入れ替わる間隔を1ヶ月とする。
中心になって対応する職員を決める。

本日の内容



はじめに（教育基本法）

- 1 学校経営（グランドデザイン）について
- 2 学校経営（具体的な取り組み）について
- 3 子ども達のサポート体制
（「先生」以外に、小学校で勤務する方々）
- 4 お礼 と 協力依頼

3 子ども達のサポート体制（本校で勤務する方々）

- ① 校長、教頭、教諭、養護教諭、学校司書・・・
- ② 事務職員
- ③ スクールサポートスタッフ
- ④ JTE（日本人英語指導助手）
- ⑤ 特別支援教育支援員
- ⑥ 登校支援員（午前中勤務）
- ⑦ 学習支援員（校内支援教室支援員）
- ⑧ スクールカウンセラー
- ⑨ スクールソーシャルワーカー

3 子ども達のサポート体制（本校で勤務する方々）

- ⑥ 登校支援員（午前中勤務）
 - ・ 児童の登校を支援する
- ⑦ 学習支援員（校内支援教室支援員）
 - ・ 教室に入れない児童の 主に学びをサポートする
- ⑧ スクールカウンセラー（金曜午前または午後勤務）
 - ・ 児童や保護者の困り感について相談を行う
- ⑨ スクールソーシャルワーカー（水曜日午前勤務）
 - ・ 児童の困り感について関係機関と連携して支援する

※ サポートが必要な場合は、担任にご相談ください。
（状況により、対応まで時間がかかる場合があります。）

本日の内容



はじめに（教育基本法）

- 1 学校経営（グランドデザイン）について
- 2 学校経営（具体的な取り組み）について
- 3 子ども達のサポート体制
（「先生」以外に、小学校で勤務する方々）
- 4 お礼 と 協力依頼

4 お礼 そして 引き続きの協力依頼

(1) 学校教育へのご理解とご協力に感謝します。

- 日頃の学級担任等との連携
- P T Aとしての協力（クリーン活動等）
- 登下校時の安全見守り、立哨等
- 職員の勤務時間への協力
（朝の登校時刻、放課後の相談等）
- 行事の際のご協力
- その他、様々な場面でのご協力・・・

4 お礼 そして 引き続きの協力依頼



(1) 登下校時のお願い

- ① 児童は**7:50～8:15に登校**させて下さい。
- ② 車で送り迎えする場合は、**駐車場で乗り降り**をさせた上、校内道路は**最徐行**でお願いします。
- ③ 可能な時に、登下校時の見守りをお願いします。
(自宅や学校周辺での交通安全・不審者対応等)

4 お礼 そして 引き続きの協力依頼

(2) 教員が本来の仕事(授業等)に注力するためのお願い
お願いの前に・・・

なぜ、教員の働き方改革が必要なのか・・・

- ① 目の前の児童に十分対応したい。
授業づくり、生徒指導
- ② このままでは、将来の学校は破綻する・・・！？
- ・ 慢性的な教員不足とその拡大
 - ・ 県小学校教育員採用試験 平成23年・・・8.1倍
令和6年・・・2.7倍

4 お礼 そして 引き続きの協力依頼

(2) 教員が本来の仕事(授業等)に注力するためのお願い

- ① 学校職員の勤務時間は8:15～16:45です。
相談等はこの時間内をお願いします。
- ② 校外での出来事は、保護者または地域の方で
対応をお願いします。
それぞれで責任を持ちつつ、連携して対応できれば
- ③ 携帯電話（スマートフォン）は、保護者の方で
責任を持って、児童に持たせて下さい。

はじめに

家庭、学校、その他（地域等）で

協力・分担して、

児童の健全育成を図ることができればと考えています。